



学校教育目標 四本の柱

すなおさ 若々しさ
たくましさ ゆかしさ



清水中のよいところ

- ・あいさつが活発で礼儀正しい
- ・清掃に熱心で学校を大切にしている
- ・学年を超えた仲の良さ・団結力がある
- ・けじめがあり、真剣に取り組む姿勢
- ・助け合い・協力し合う姿勢



改善すべきところ

- ・時間管理ができていない
- ・整理整頓ができていない
- ・人の気持ちを考えた言動が足りない
- ・集会で発言する人が限られている
- ・他人を尊重する態度や思いやりが足りない

自律を育む学校

しっかり「学ぶ」

1 生徒が学びの主人公

- ・生徒が課題を発見し、自己決定しながら追究する授業づくり。
- ・ICTを活用し、自分なりの方法や友との対話を通して学びを深める。

2 「清流の時間」のシンカ

- ・各学年で探究的な学習をする。
「地域で学ぶ」(1年)
「地域と学ぶ」(2年)
「地域の一員になる」(3年)
- ・中高大連携より進めていく。



みんなと「ともに」

1 伝統を受け継ぐ活動

- ・さわやかな挨拶、美しい歌声
- ・「無言・膝つき・二度がけ」の磨きあげる清掃。
- ・地域での全校奉仕活動

2 生徒会活動

- ・生徒主体の活動を通して、学校生活の充実を図る。

3 部活動

- ・スポーツ文化活動の指針に沿って目標に向かって活動する。



ずっと大事に「恕の心」

1 「特別活動」の充実

- ・安心できる仲間づくりを学級・学年・全校で取り組む。

2 「道徳科」の充実

- ・ローテーション道徳を行い、心を豊かにしていく。

3 地域を愛する心の醸成

- ・1年 地域の魅力を再発見
- ・2年 地域の方の働き方から自分の生き方を考える
- ・3年 地域貢献

